

吉田会長から年頭ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中におきまして、業界の皆様方をはじめ、お引き立て戴きました各方面の皆様方に厚く御礼申し上げますとともに、本年もなお一層ご協力賜りますようお願い申し上げます。

初めに、昨年3月11日の東日本大震災による甚大な地震・津波被害と原子力発電所の事故を踏まえ犠牲になられた皆様方に心から哀悼の意を表したいと存じます。

被害に遭われたすべての皆様と今なお復旧・復興にたずさわる皆様にも、心よりお見舞いを申し上げます。

昨年を振り返り、国内、外ともに経済・社会の変化が激しいなか、未曾有の大被害をもたらした東日本大震災が今も重くのしかかっている感の日本経済ですが、国民と諸外国の多くが被災地への暖かい支援と連帯の手を差し延べ、これほど力強い絆を感じたことは言うまでもありません。

国内経済は急速な円高やデフレの継続による景気の停滞、世界全体に目を向けますと、欧米諸国に限らず中国や朝鮮半島、ASEAN諸国等、近隣諸国の外交関係の変化、日本のTPP・環太平洋経済協定への参加表明等、多くの変化が起きた1年でした。

また、欧米経済減速の厳しい現実に対して、中国を始めとする新興諸国の経済成長のスピードも停滞感が高まってきた年であったと思います。

このように先が読めない世界経済が続く中で、本年は、継続して激しく変化する産業構造の中で皮革業界に明日を切り拓く新しい活力が生まれ、地域の活性化が促進される事を期待したいと思えます。

激しい時代の変化の中で楽観的な条件とか特効薬は決してなく、時代を克服する力は産業を支える良質のもの作り産業の努力と底力が存在することは自明の理であり、国内産業の充実を原点に置き、あらためて見据えていく必要があるように思います。

兵庫県皮革産業協同組合連合会は、国産、兵庫の皮革産業が主体性を持った市場を目指せるように、「兵庫の天然皮革」活用と認知度拡大、及び高付加価値化推進を目標にPRを含めて取り組んでまいりました。

年間で2回の東京レザーフェア、異業種でもある繊維産業の見本市・ジャパングリエーション、さらには地元の産官学が連携し開催する、ひょうご皮革総合フェアと県下皮革業界で取り組む新作皮革求評会・ニューレザーコンテスト等、皮革産業の活性化へ向け兵庫のもの作り産業の存在を明確に打ち出してまいりました。

兵庫県は、国産成牛革の国内最大の生産地となっており、「兵庫の天然皮革」ブランド力強化実現へ向けた活動を展開しています。

歴史的に永年培われた産地の技術力は欧州産に勝るとも劣らない高品質な製品を産出しており、新しい時代に向け「兵庫の天然皮革」の認知を国内外へさらに拡大したいと存じます。

本会の事業環境はますます厳しい状況へ向かうと思われませんが、業界が自助努力を強め協力し合い難局を切り開いて行きたいと思えます。

新年が皆様にとっても良き年になるようご祈念申し上げますとともに、一層のご協力とご鞭撻をお願いし新年のご挨拶といたします。

